

3年生 特別支援学校での介護等体験

3年生を中心として9月下旬から10月上旬にかけて、特別支援学校で2日間の介護等体験を実施しました。新型コロナウイルス感染症に対する最大限の予防対策をして臨んだ体験活動でしたが、来年度の教育実習を前に教育について様々な認識や気付きを得ることができたと思います。受け入れていただいた学校に感謝いたします。

介護等体験に臨んで —参加者の声—

◇今日の体験で私自身が教員から学んだ点は生徒への自立を促す接し方である。例えば、生徒の呼び方ひとつ取っても「さん」付けをすることで、社会に出た際の礼儀や挨拶ができるような意識付けを行ったり、敢えて生徒の手助けをしないことで自分自身による問題解決をしようとする意識を促したりするなど、教師の接し方次第で日常が生徒の学びになることを知った。
[経済学部経営学科]

◇教員が何でも助けるのではなく、生徒の自立という意味から、見守ることと手を差し伸べることを判断し、個に応じた指導方法をとっていた点で、教員としての基礎に忠実でした。どんな生徒にもしっかり目をかけて信頼関係を築くことが大切だと学びました。
[経済学部金融学科]

◇教員になった際に、どうすれば生徒が自立できるかを考えるということは、どの学校においても同じことであると思った。その場で教師が「何かをしてできた」ということだけで終わりにせず、その子供が今後生きていく上でどんな力が必要になるかを考えることは重要であり、参考になると思った。また、子供それぞれにできないことや苦手なことがあったときに、それを認め受け入れること、切り捨てたりせずにその子供の存在意義を見出したり、子供の持っている良いところや可能性を引き出していくというのは今後、生徒と関わっていく際に意識していこうと思った。
[人文学部ヨーロッパ文化学科]

今年度 教員採用試験 (2020.12.10現在)

合格
おめでとう
ございます!!



人文学部日本・東アジア文化学科
緒方 大輝さん
千葉県：公立高等学校
国語合格
計画的にコツコツと
努力していきましょう



人文学部英語英米文化学科
河上 美紗さん
東京都：私立高等学校
英語合格
Don't be afraid !!!



人文学部日本・東アジア文化学科
新里 瞭さん
広域通信制：私立高等学校
国語合格
燃やせ！心を！（体言止め）



経済学部金融学科
源平 隼也さん
埼玉県：私立高等学校
商業合格
すべては生徒のために！

そのほか、卒業生からも採用試験合格の連絡が入っています。

原稿、アイデア
お寄せください。

武蔵大学 教職課程

教職課程ホームページ

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1
武蔵大学 8号館 4F
TEL：03-5984-3729
E-mail：tac@sec.musashi.ac.jp
<https://www.musashi.ac.jp/manabi/kyoushoku>

2021年1月9日

武蔵大学

教職課程通信



MUSASHI
UNIVERSITY

Vol. 10 2021/1



2 3・4年生合同 教育実習報告会
本年度の教育実習概要

3 3年生 模擬授業
2年生 教職課程登録の終了
教職課程登録者学部別人数

4 3年生 特別支援学校での介護等体験
今年度教員採用試験
合格おめでとうございます!!

武蔵大学 教職課程

3・4年生合同 教育実習報告会



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2020年度の教育実習は全ての予定が後期に延期され、8月24日からやっと教育実習が開始されました。4年生の誰もが、3週間の教育実習期間が無事全うできることを祈りながら、学校現場でこそ経験できる多くの気づきや学びを得て戻ってきました。

例年では6月に行われる教育実習報告会も11月7日に開催されました。代表者の発表を基に4年生は自らの実践を振り返るとともに教職に対する考えを深め、3年生は来年度の教育実習に臨む心構えを学ぶ機会となりました。

「教育実習総括レポート」より - 4年生の声 -

- 3週間の教育実習の中で学んだことがたくさんありました。まず、教員というのは「教える」という立場だけでなく、同時に「学習者」であるということを理解することができました。授業をしていても、生徒たちから教わるのがたくさんあり、生徒たちと授業者が共に学び成長していくのが、学校という場所であるのだと感じました。だからこそ、教師は尊大にならず、生徒一人一人を尊重しながら接することが重要なのだと思いました。 [高等学校・国語]
- 先生方の仕事量は私が想像していた量とは比較にならないほどでした。若い先生方ほど、その仕事量の多さに頭を抱えていらっしやいました。私も実際に学校に勤務したら頭を抱える毎日が続くとは思いますが、先生方もおっしゃっていましたが、「教師は生徒のために」これをモットーに4月から頑張ろうと思える3週間でした。 [高等学校・商業]
- 私が今回の教育実習で学んだことは、授業の難しさはもちろんのこと、それ以上に教材研究の重要性であった。1の知識で1を教えるのではなく、10の知識から何を学ばせるのかを選びそこから1を教えるのでは、授業の質は全く違うものになることも学んだ。当然ではあるが、教師の知識量は生徒のそれよりも先を行っていかなくてはならない。それが、今回の実習で学んだ大きなことであり、ここからより教材研究を深め、自身の知識を広げていくことが課題となる。 [中学校・社会]
- 教育実習最終日の帰りのホームルームで一言話す場面がありました。その時に、今までの授業で感じたことのないくらいに生徒たちが私の話に関心してくれて、こんなにも自分のメッセージを多くの生徒たちに伝えられる教師という仕事の「責任の大きさ＝影響力の大きさ」に魅力を感じました。だからこそ、教師は生徒たちにとって模範的な存在であり続ける必要があると改めて感じました。 [高等学校・外国語]

本年度の教育実習概要

(単位：人)

学部等	種別 学科	実習生総数	実習校別内訳				教科別内訳									
			中学校		高等学校											
			公立	私立	公立	私立	国	社	地歴	公民	情報	商	英	独	仏	
経済	経済	3	0	0	1	2			1	1			1			
	経営	4	1	1	1	1		2	1	1						
	金融	2			1	1		1				1				
	計	9	1	1	3	4		3	2	2		1	1			
人文	英語英米文化	6	2		1	3							6			
	ヨーロッパ文化	6	4		1	1		4	1				1			
	日本・東アジア文化	13	9		2	2	12		1							
	計	25	15		4	6	12	4	2				7			
社会	社会	6	2		4			2	3	1						
	メディア社会	3	2	1				3								
	計	9	4	1	4			5	3	1						
科目等履修生																
大学院生					1	1			1	1						
大学合計			45	20	2	12	11	12	12	8	4		1	8		

3年生 模擬授業

例年10月から、「教育実習1」の授業で3年生全員が模擬授業を行います。教育実習を終えた4年生も体験から得た学びを基に担当の先生と共に助言するのですが、今年度は10月以降が教育実習の佳境とあって、間近に教育実習を控え、3年生と共に真剣に意見交換する4年生の姿もみられました。また、感染拡大の影響からオンラインで授業に参加する学生もいるなど、例年とは異なる授業の形態ながら、よりよい指導方法のあり方を追究しました。



模擬授業からの学び - 3年生の声 -

- ◆ 模擬授業を振り返って先生や先輩方から指摘されたのは、授業内で提示する関連資料の不足だった。説明や発問の際に資料が不足していたために説明がうまく伝わらなかったり、発問によって得られる生徒側の反応が教師側の意図していたものとは異なっていたりした。このようなことは、私自身が授業を行う際に教師としての視点からしか授業を考えることができていなかったからであり、授業を行う際、より生徒の視点から授業を捉え、生徒が分かりやすくまた考えやすいように授業を工夫する必要があることを学んだ。 [社会学部社会学]
- ◆ まず何においても大切なのは準備であるということ学んだ。練習を繰り返すことが本番の成功や成長につながるのだと感じた。実習報告でも4年生の先輩方が口を揃えて「準備が大切だ」とおっしゃっていたので、今からできる準備は早く始めて、授業の進め方やペース、タイミングなどを身に付けておきたいと思った。また、学習指導案はこれまできちんと書いたり学んだりしたことがなかったが、模擬授業の事前指導や授業後の助言から、学習指導案作成の大切さを学んだので勉強していきたい。また、一つの授業だけをうまくやればよいということではなく、普段から身の回りのことに目を向けたり、教科やそれ以外の様々な知識・技能を身に付けたりすることが大切であることを学んだ。 [人文学部英語英米文化学科]

2年生 教職課程登録の終了

2年生は10月中旬に無事教職課程登録が終わりしました。教職課程登録前面談は7月の上旬から実施されましたが、学生の入構制限もあり、オンライン形式で面談が行われました。対面での面談ではなくとも、画面の向こうからは教職課程を履修するに当たっての様々な熱い思いが伝わってきました。

教職課程を履修する理由 - 2年生の声 -

- 一日の大半を学校で過ごす子供たちに、私はできるだけ多くの刺激を与えたい。そして子供たちが刺激を受け、何かに好奇心を持ったとき、それを子供たちの能力に代える手助けをしたい。そのため私は教職課程を履修しようと思っている。 [経済学部経済学科]
- 教職課程で学べることは、たとえ将来教員にならなくても役立つものだと考えているので、今しかできない貴重な経験になると思い、自分の成長と生活を充実させるためにも履修しようと考えました。 [人文学部ヨーロッパ文化学科]
- 私は人と関わるのが好きです。それは生きていく上で欠かせないことだと考えます。教職に限った話ではなく、どんな仕事にも人と触れ合う機会がありますが、教師はその時間がいちばん長く、濃いのではないのでしょうか。私は自分の「好き」を伸ばすために教職課程の履修を希望します。 [人文学部ヨーロッパ文化学科]
- 教職課程で学ぶ期間は多くの壁にぶつかると思います。教員になる、ならないにかかわらず、壁に挑戦することで今よりも多くのことを学ぶことができます。それは必ず自分の財産となり、今後の大学生活だけでなく、ライフコースに大きく影響してきます。だからこそ、自分を磨くためにも履修したいと思います。 [社会学部社会学]

教職課程登録者学部別人数

(単位：人)

経済				人文				社会			合計
経済	経営	金融	合計	英語英米文化	ヨーロッパ文化	日本・東アジア文化	合計	社会	メディア社会	合計	
6	1	5	12	12	13	10	35	7	1	8	55